

部局名	総務企画部	所属名	広報広聴課	所属長名	澤村 康廣	電 話	483-1151 内線2511
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3032		事務事業名称	映像事業						短縮コード	経常	3032	臨時			
予算区分	会計	01	一般会計		款	02	総務費		項	01	総務管理費		目	03	広報費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市行政組織規則第6条別表第2									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
①CATV広報（やちよNAV iの番組制作）は、平成6年4月、八千代市ケーブルテレビが開局されたのを契機に始めた。 ②モールビジョンで、集客率の高い、緑が丘イオン内で、一般市民向け地域イベント情報の発信をしている。これは、緑が丘イオンがオープンしてから 始められた。 ③視覚に障害のある市民に、広報やちよの内容を声の広報として、ボランティアにテープに吹き込んでもらい、委託業者を通じ、ダビング・音付けし たテープを希望者に配布。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために								
①やちよNAV iは、企画立案を広報広聴課が行っている。制作・編集・放送の部分は委託している。 ②声の広報は、カセットテープで配布しているが、CDや他の音声媒体での情報発信について、検討する必要がある。						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進								
						中 項 目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進								
						小項目（施策）	01	透明性の高い市政の推進								
						細 項 目	03	広報活動の充実								
					実施計画の計画事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	全市民を対象とする							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 各種メディアを活用して市政全般のこと、市内のできごとなど市民に情報を提供するためにCATV広報や視覚障害者のために声の広報などを行った。また、イオン八千代緑が丘ショッピングセンター内のモールビジョンで市内で開催する行事などの情報提供を行った。							
	※平成20年度に計画していること： 各種メディアを活用して市政全般のこと、市内のできごとなど市民に情報を提供するためにCATV広報や視覚障害者のために声の広報などを行う。また、イオン八千代緑が丘ショッピングセンター内のモールビジョンで市内で開催する行事などの情報提供を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	市のイベントや市政情報を提供し、市政への理解を深めてもらう。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	世帯数	世帯	75,674	78,400	77,303	79,200	
	指標 2	モールビジョン	基	1	1	1	1	
	指標 3	視覚障害者	人				552	
活動指標	指標 1	ケーブルテレビで放送した広報番組数と放送時間数	時間	10,800	10,800	10,800	10,800	
	指標 2	モールビジョン放映時間数	時間	1,512	1,512	1,512	1,512	
	指標 3	声の広報を希望する人	人	41	41	41	42	
成果指標	指標 1	やちよNAV i 番組視聴世帯数	世帯	51,824	52,000	51,824	53,251	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3032		事務事業名称		映像事業		所属名		広報広聴課	
				単位	1 8 年度	1 9 年度			2 0 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円							
		県		千円							
		地方債		千円							
		一般財源		千円	5, 722	5, 344	5, 354	5, 490			
		その他		千円	0	1, 260	0	0			
	主な事業費の内訳			やちよNAV I 制作放送委託料3, 903, 108円、声の広報ダビング委託料730, 117円、市ホームページ器具類の使用料及び賃借料187, 425円、ビデオカメラ等購入570, 885円		委託料、使用料及び賃借料		やちよNAV I 制作放送委託料4, 595, 976円、声の広報ダビング委託料738, 989円		委託料、使用料及び賃借料	
	人件費 (B)			千円	36, 359. 9	27, 211. 7	18, 361. 5	18, 235. 4			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	42, 081. 9	33, 815. 7	23, 715. 5	23, 725. 4			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由										
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策にある市政に関心を持ってもらうという点で「透明性の高い市政の推進」を進めることにつながる映像事業は重要である。										
			☐ 結び付くが見直しの余地がある												
			☐ 結びつきが弱い・ない												
			☐ 評価対象外事項												
目的 妥当 性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		情報配信の手段として「広報やちよ」と並んで、八千代ケーブルテレビで放送するCATV広報「やちよNAVi」を続けていくことが必要である。										
			☒ 達成していない												
			☐ 評価対象外事項												
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		CATV広報「やちよNAVi」などを利用しての情報発信は、市政運営に関する説明責任の観点からも、市自らが責任を持って果たすべき性質のものである。										
☒ 可能性はない															
☐ 評価対象外事項															
目的 妥当 性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		これまでどおり、広く市民に情報を伝えることに変更はない。										
			☐ 見直す必要がある												
			☐ 評価対象外事項												
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		やちよNAViは継続していくが、経費は絞り込んでいるのでこれ以上の有効性は考えられない。 有効性を考えるのであれば追加費用が必要となる。										
			☐ 効率性向上の可能性はある												
			☐ 両方可能性はある												
			☒ 可能性がない												
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		☐ 臨時的任用職員等の活用											
												☐ IT化等業務プロセスの見直し			
														☐ 受益者負担の見直し	
														☐ 上記以外の方法	
												類似 事務 事業 名称			
	1														
			2												
実施主体 (所管部署)															
		実施主体 (所管部署)													
⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）				☐ ある											
		☐ ない													

